

# 交通安全市民会議 ニュース 4月号



## もうすぐGW！渋滞時の事故に注意！！



新元号になる今年のゴールデンウィークは多くの方が 10 連休です。それに伴い、全国各地で例年以上の交通渋滞が予想されますが、渋滞時の事故率は通常時よりも数十倍も高いと言われます。渋滞時の事故が起きやすいポイントを知って、事故を未然に防ぎましょう。

### 原因 1 車間距離が詰まる

車間距離



渋滞中は速度が遅くなるため、車間距離を詰めて追突事故が増加します。また、車間距離を詰めるとブレーキを踏む回数が増えてさらなる渋滞が起きます。

Point!

- ・時間と気持ちにゆとりを持った運転を！
- ・あおり運転など他のドライバーの迷惑になることは絶対にしない！
- また、自分がされても冷静に対処しよう！

### 原因 2 無謀な車線変更

渋滞中は、少しでも早く目的地に着きたい心理のため、普段以上に車線変更しがちです。急な車線変更は、後続車に“割り込み”と判断され、あおり運転の原因にもなり、事故の引き金となります。

Point!

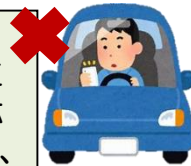
- ・渋滞時は、追越車線より走行車線の方が交通量が少なく、早く進む傾向があります。車線変更したい気持ちを抑えて、走行車線を選択しよう！

### 原因 3 脇見運転

ノロノロ運転は、緊張が薄れて脇見しがちになり、運転中にも関わらずカーナビやスマホの操作、車内で落としたものを拾うなどして、前の車の速度の変化に気付かず追突してしまいます。

Point!

- ・運転する前にナビのセットを！
- ・渋滞時は、運転手が疲労してイライラしがちになりやすいので、早めの運転交代や適度に会話など同乗者も運転のサポートを！



「急がば回れ」！スピードを出しても到着時間に大きな差はないよ。むしろ、事故を起こす確率が高くなって、せっかくの遠出も台無しに。時間に余裕を持って快適なドライブをしましょう♪  
渋滞情報のチェックも忘れずに！



## 大型トラックのスピードリミッターをご存知ですか？

高速道路の追い越し車線で大型トラックの後ろを走行している時、速度が遅くイライラしたことはありませんか？大型トラックの制限速度は 80 km/h 以下と決められています。最近では高速道路が整備され制限速度が 100km の区間が多い中、この制限速度では少し遅いように感じますね。これは、高速道路での大型トラックの速度超過による事故が多発したため、平成 15 年に制限速度が 80 km/h 以下に変更されたことによるものです。それにより、大型トラックには 90 km/h 以上の速度が出ないようにスピードリミッターの装着が義務化されました。制限速度と少し差がありますが、これがあるのとないのでは事故率は大きく変わってきます。みなさんも、トラックの後ろでは寛大な気持ちでゆとりある運転をしてくださいね！

80 km/h  
以下!

